



山室軍平

社会鍋と救済事業

地の塩となつた社会事業家

京都ノートルダム女子大学特任教授

室田 保夫

「山室軍平の生涯と思想—伝道と社会事業」



同志社大学人文科学研究so助教

林 葉子

「山室軍平と廃娼運動—日英関係史の視点から」



2019年

6月6日(木)

午後2時～4時30分 (予定)

山陽新聞社

さん太ホール

(岡山市北区柳町)

入場無料

主催 ● 公益財団法人 山陽放送学術文化財団 共催 ● 岡山日蘭協会

後援 ● 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、香川県、香川県教育委員会、(公財)岡山県郷土文化財団、山陽新聞社

新見市(旧哲多町)の農家に生まれた山室軍平(1872~1940)。14歳のとき上京して築地活版製造所の印刷工となり、キリスト教の街頭宣伝に触れて入信する。苦学しながら新島襄を慕って同志社英学校で学ぶ。その頃より石井十次と知己となる。1895(明治28)年9月キリスト教プロテスタントの一教派、救世軍が来日し、入隊する。山室は日本の救世軍の創設に尽力し、1899(明治32)年に佐藤機恵子と結婚。名著『平民之福音』を刊行した。日本人初の士官として伝道と社会的実践に従事し、58歳で東洋初の中将となり日本救世軍の司令官を務めた。



説教する山室軍平

この間、更生保護、婦人救済、社会鍋、慰問籠運動、慈善病院や結核療



各地で行われた社会鍋(街頭募金)

養所、職業紹介、労働セツルメント、廃娼運動、禁酒運動など様々な事業や社会運動を展開し、福祉の向上に大きく貢献した。特に、明治末期に始まった社会鍋の募金活動は、いまま都市の歳末風物詩として親しまれている。また貧しさ故に売られた女性を遊廓から救済する救世軍の自由廃業運動は社会的に大きな反響を呼んだ。

シンポジウムでは研究者ふたりを招き、「地の塩」となり「暗きを照らす光」となって民衆の福祉のために尽くした山室軍平の生涯や思想を、そして激しい廃娼運動を展開した山室の公娼制度への闘いを世界的な視点からも明らかにしていく。

出演者プロフィール

室田 保夫 (むろた やすお)

京都府出身。京都ノートルダム女子大学特任教授。関西学院大学名誉教授。博士(社会福祉学)。

専門は近代日本の社会福祉の歴史。とくに、社会福祉に関わった人物の思想や理論をその時代の経済、政治、文化、社会を背景に研究している。

同志社大学大学院修了後、関西学院大学教授などを経て現職。

著書に『山室軍平の研究』(共著)、『留岡幸助著作集』全5巻(共編)、『キリスト教社会福祉思想史の研究』、『近代日本の光と影』など、社会福祉関連著書、論文多数。

林 葉子 (はやし ようこ)

千葉県出身。同志社大学人文科学研究所助教。博士(文学)。

専門は近現代日本政治思想史。とくに、公娼制度や廃娼運動に関わる日英帝国関係史、売春防止法制定史を研究している。

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了後、同大学院助教を経て、2019年4月より現職。神戸女学院大学等で非常勤講師として教鞭をとる。著書に『性を管理する帝国—公娼制度下の「衛生」問題と廃娼運動』、『戦後日本思想と知識人の役割』(共著)、『男女別学の時代—戦前期中等教育のジェンダー比較』(共著)、『女たちの満洲—多民族空間を生きて』(共著)など、論文多数。

ご希望の方には「優待席」をご用意します。
この用紙のままFaxでお申し込みください。 **5月10日(金)必着**

お名前(企業名)	〒
ご住所	
申込人数	※ 2名までとさせていただきます。
ご連絡先(電話など)	
fax 086-225-5046	
優待席お申込は、ハガキ、e-mailでも受け付けます。	
◆ e-mail nichiran@rsk.co.jp	
◆ ハガキ宛先 〒700-8580 山陽放送内(公財)山陽放送学術文化財団	
◆ 申し込みは1枚(1回)につき2人迄となります。(複数応募不可)	
希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。	
「優待席のご案内」はハガキでお知らせします。	

絶賛発売中!

「岡山蘭学の群像1・2・3」

A5判	定価	1・2	本体 1400円+税
		3	本体 1600円+税

先人のあくなき探究心と、歴史のダイナミズムがここに!

最寄りの書店でお求めください。

次回は

慈愛と福祉の先駆者たちVI テーマ:「アリス・ペター・アダムス」

2019年9月4日(水) 午後2時(予定)
山陽新聞社さん太ホール